



やる気と自信を! ~共感から~

○遊びに広がりと深まりを感じています。

*遊びの違いはありますが・・・それぞれの興味で・・・

- ・自然発生的に始まる「やってみよう~」
- ・お友達に刺激されて、一緒に遊び始める「あそぼ~」「いれて~」
- ・教師がその時々興味を拾って始まる「これ、どう?」

⇒ やがて、**“夢中”になって遊ぶ**” 幼児期の特徴です。<生きる力の「芽生え」>



▶これが「やる気として育まれて、いろいろな分野へと広がってほしい」と願います。

*エッセイ「子どものやる気を育む」より
中村 香織

長男が、翌日の体育の授業「逆上がり」に備えて練習をしたのですが、うまくいきません。とうとう泣き出しました。そんな長男に私は「逆上がりができないくらいで泣かないの。泣いてもできるようにならないよ、また練習しなさい」と言ってしまったのです。

そのときの私は、ギブアップしないで、練習を続けてほしい。できるようにになって自信をつけさせたいとの思いがありました。

けれど、言われた長男に私の気持ちがあるはずはなく、「逆上がりができなくて失敗したからお母さんがおこっている...おこられたくないから失敗はしたくない。失敗したくないから練習はやめよう」と感じていたと思います。

私のこころは、「長男のため、親の愛情」でしたが、言葉は、否定や指示・命令であり、結果的に、長男からやる気と自信を奪っていました。

逆上がりができなくて泣いたとき、長男の悔しさに共感して「できなくて悔しいね」と声をかけ、「でも投げ出さないで一生懸命練習して偉いわね。頑張っているね」と励ましの言葉を伝えていたら、きつと長男は「お母さんはわかってくれた」と感じ、安心したと思います。

プラスの感情だけでなく、悲しいときや失敗したときも共感してもらおうことで子どものころは成長し、やる気を失わずに、失敗してもめげずに頑張ることができるのです。

また、日ごろから「快感覚」の言葉を声に出すと、共感力を高めることができます。発した快感覚の言葉によって感性が磨かれ、共感力がアップします。

できないことを正そうとするより共感して、愛情を愛情として子どものころに届けて、わが子のやる気を育てていきたいですね。

(月刊 すこしれより 一 郭友華)

◆いかがですか。

「わかっているつもりですけどねえ・・・」が、親の気持ちではないでしょうか。

この「共感すること」を大切にしたい」願いもあるPTA家庭教育学級の取組の感想が裏面です。

<ほめほめシャワーで♡HAPPY♡になろう♪> ↓ ほめられることで・・・



- *自己肯定感上がる
- *子供との信頼関係が築ける
- *自主性や責任感が育つ
- *他の子にも優しくできる

きつと、ほめる場面ばかりではなかったことでしょう。でも、失敗や悲しいことがあった時、それまでの「プラスの共感」があるか無いか(=ほめ貯金)で、違いが出てきます。私たち(園)も、こどもに寄り添った支援を大切に進めていきます。

★今は、『運動会』に向かい始めた時。これまで以上に“こどもの心に共感する”を意識しています。

- ・遊びが運動会の競技や遊戯につながっていくような、ワクワクするストーリー展開をします。
- ・苦手ややる気が出ない時、友達の姿や友達からかけられる声も拾い、丁寧に伝えて再挑戦します。

夏休み期間中

ほめほめシャワーで♡HAPPY♡になろう♪より

おうちでも、パンツ
をはいて過ごせるよ
うになったね。

いつも「ママ手伝
うよ」と言ってくれて
うれしいよ。
ありがとう！

野菜が嫌いだけど、
自分から白菜のごま
和えを食べたね！
スゴイぞ!!

パジャマをきちん
とたたおことがで
きました。

お椀についているご
はん粒も、一つ残さ
ずきれいに食べるこ
とができました。

家でもおもちゃ
の片付けができ
るようになった
ね。

けんかをして、
お互いに「ごめん
ね」って仲直り
できたね！
すばらしい☆

お店で「ありがとう」や
家族に「おはよう」な
ど、さらっと言えた時。
かっこいいね！

FOR THE FIRST
TIME YOU LEARN
HIRAGANA AND
KATAKANA...
AMAZING KID!!

初めてトランプに挑
戦して、少しずつでき
るようになったね。
これからもいっぱい
遊ぼうね。

運転中、弟がぐずって
しまったけど、自分か
らあやしてニコニコ
笑顔にしてくれたね。
まま助かうたよ。
ありがとう

※家族の感想

- *ほめることで笑顔になってくれて、まわりのみんなも楽しい気持ちになれました。
- *普段叱ってしまうことが多いので、意識してほめると気持ち良く過ごせると実感しました。
- *たくさん叱ってしまうこともあるけど、それよりもたくさんの「ありがとう」がありました。
- *できることが増えて、あたり前が多くなってきたからこそ、ちゃんとほめることを意識して、声をかけていきたいと思いました。
- *ほめられたことで、自分も他の人の動きを意識するようになったみたいです。「大丈夫?」「落ち着いて」など、声をかける様子が見られます。
- *できてあたり前と思っていたことをほめてあげることで、自分からやってみようと思欲的になってくれたと思います。
- *ほめることをしてから、少しずつ自主性が出てきたように感じます。前向きにお手伝いが出来るようになってよかったです。
- *That kind of work make me happy.
- *体調を崩すことなく毎日元気に遊んでいました。夏休み中にできることも増えて、本人もうれしそうです。
- *♡の中に書いてあげるよと言うと、いつもは嫌がることでも挑戦しようとする姿が増えて良かったです。
- *たくさんお手伝いしてくれました。できることや手伝ってくれることがあたり前ではなく、その都度、ちゃんとお礼を言ったりぎゅーしたりすることを大切にしていきたいです。
- *ほめるととても喜ぶので、やる気に繋がって良いと思いました。これからもどんどんほめていきたいです。

たくさんの感想

～ありがとうございました～